

SillHa ユーザー限定スキルアップセミナー

視聴無料

Web配信

SillHa Connect

～予防へ繋げる活用法～

2024年 3月 14日(木)
13:00～14:30

Point

SillHa Connectご導入後
セミナー視聴いただいたご施設へ
予防やSillHa Connect活用ノウハウが詰まった
講師3名のご講演資料をプレゼント📄

Sweden Styleの予防を目指す

東京都開業 竹内泰子

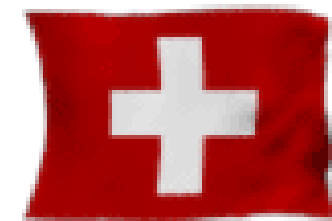
日本歯周病学会専門医指導医
AFD研修会インストラクター
SDA JAPAN代表

プロフィール

1980年 日本歯科大学卒業 都内矯正研究所勤務
1982年 都内インプラント研究所勤務
1985年 東京都世田谷区開業
1986年 イェテボリ大学Jan Lindhe教授講演会参加

1991年 イェテボリ大学歯周病科留学
1992年 帰国（世田谷区開業地で継続診療）
1994年 AFD研修会発足
2002年 日本歯周病学会専門医
2007年 日本歯周病学会専門医指導医

2008年 SDA JAPAN設立
2011年 TOKYO歯周治療クリニック
2018年 TOKYO歯周&矯正クリニックに名称変更
2024年 歯科衛生士応援学会一般社団法人S.I.C.A設立
現在に至る



Sweden Style : 世界標準の予防

歯の喪失を防ぐ

長寿化

残存歯数

情報

口腔疾患を抑制する

健康志向

定期受診

臨床システム

健康長寿

歯科臨床はどう変わったか

一歯単位

一口腔単位

ライフ（生涯）単位



治療

予防・メンテナンス

天然歯修復
咬合再構築

修復・修理
疾患治療
(対症療法中心)

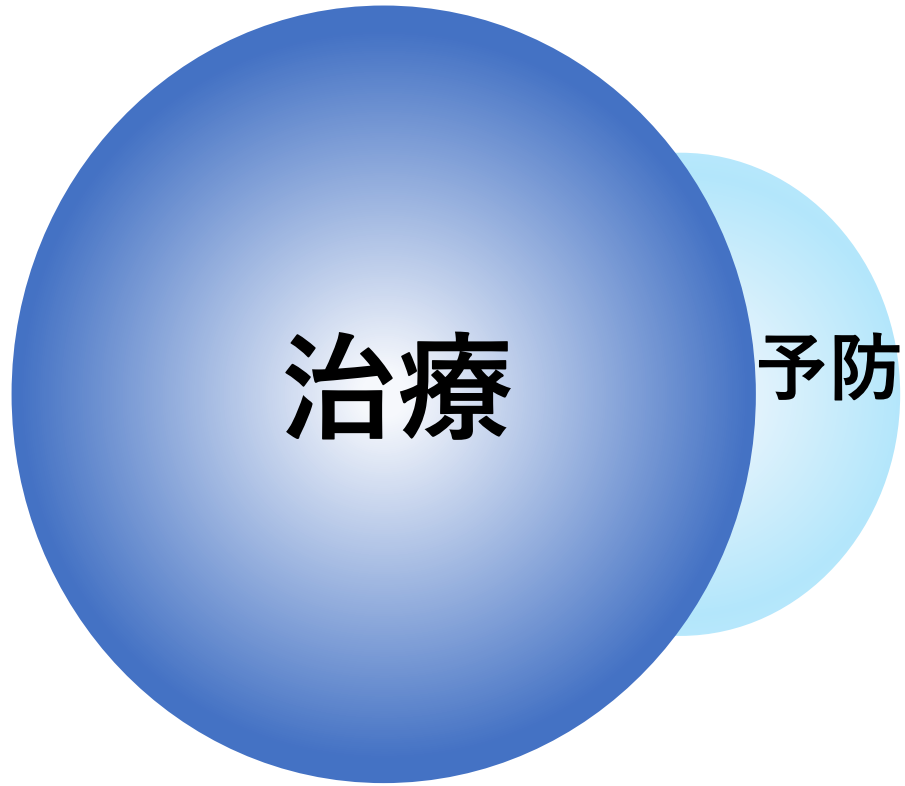
疾患予防
疾患治療
さらなる治療
全身疾患への影響

歯科医療の転換

Doing

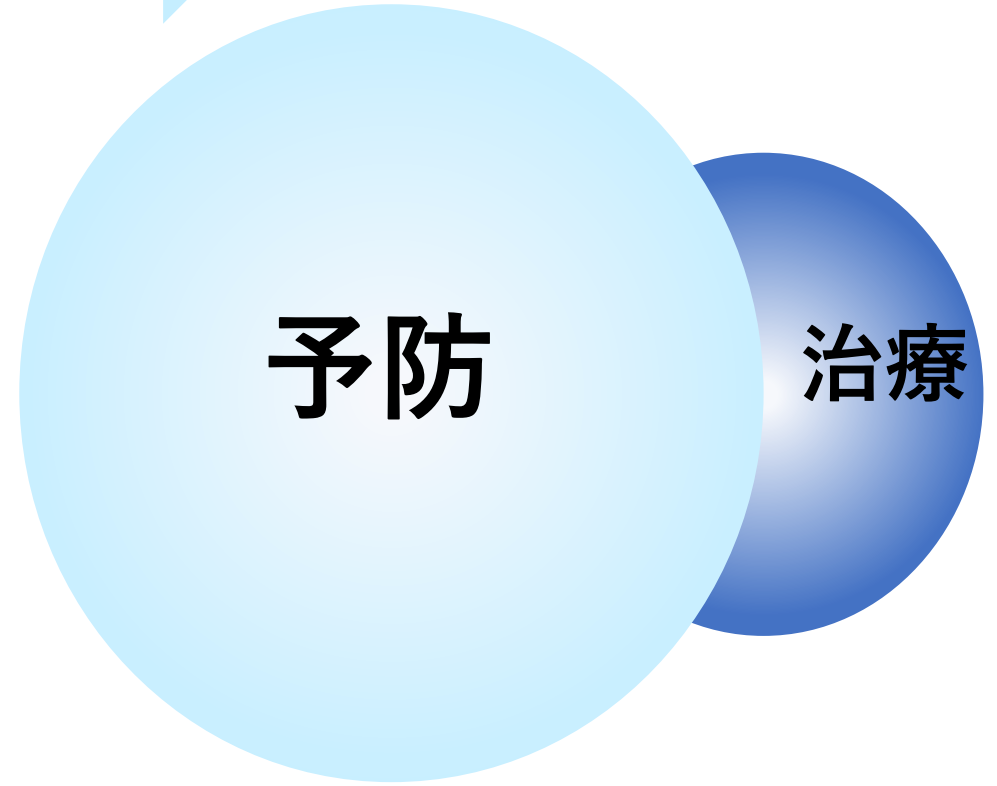


Being



施術中心型

Dr. + DH



寄り添い型

Dr. + DH

喪失リスクの高い歯

- 未処置のむし歯
- 歯周疾患が進行している歯
- クラウン(冠)装着されている歯
- 部分義歯の針金がかかる歯(鉤歯)



う蝕

口腔二大疾患の病態

代謝の
不調和

脱灰

再石灰化

実質欠損

周辺組織
への波及

初期

歯の喪失

歯周病

口腔二大疾患の病態

バイオ
フィルム

形成蓄積

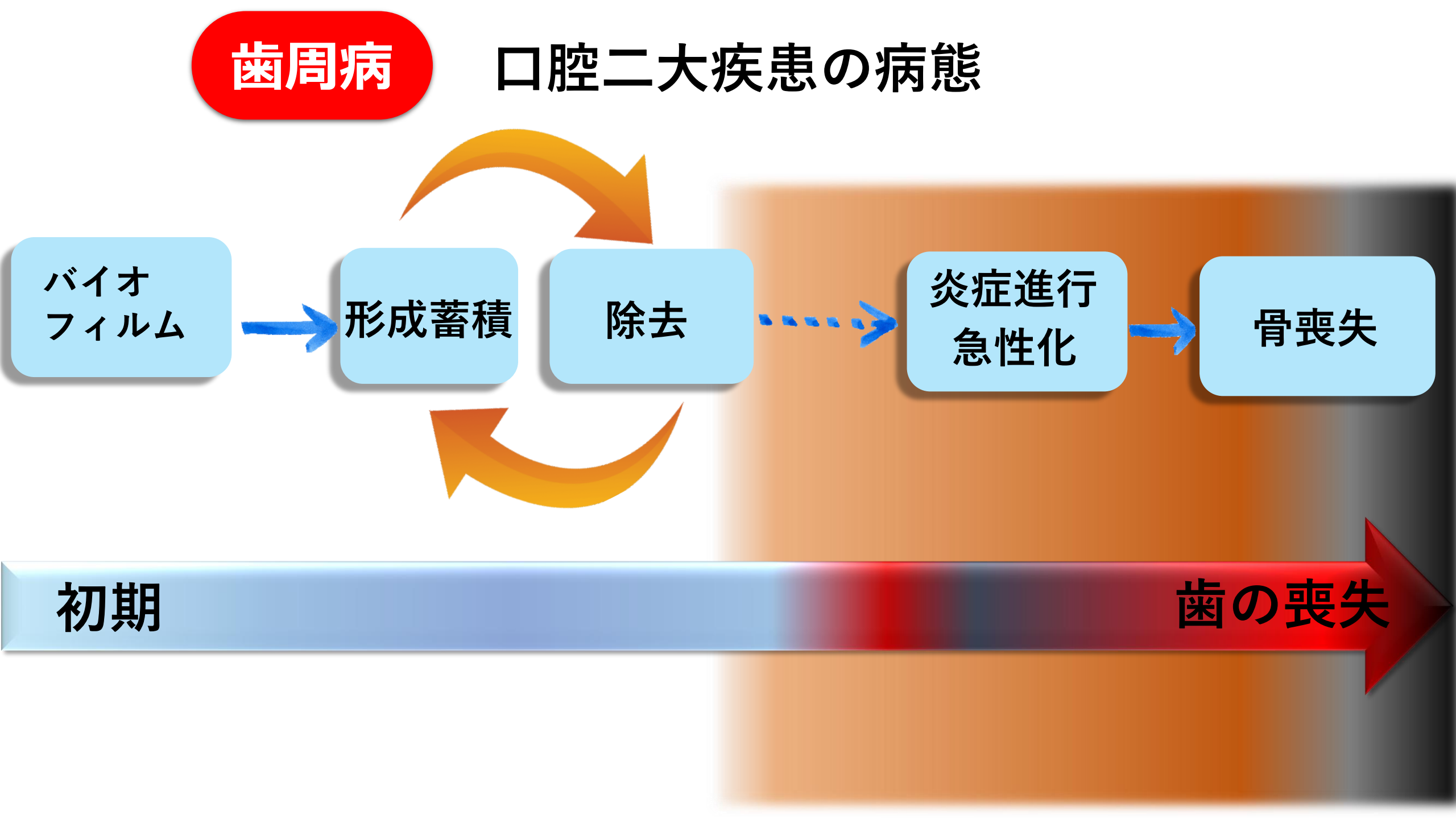
除去

炎症進行
急性化

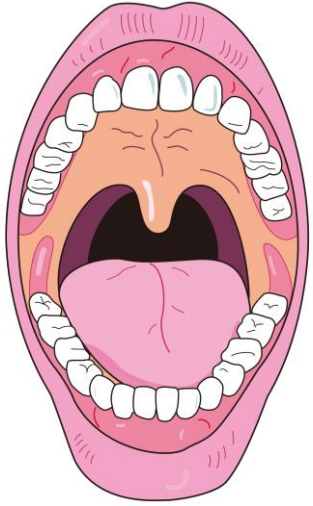
骨喪失

初期

歯の喪失



バイオフィルム



▶ 口腔内常在菌が歯の表層に形成

▶ 除去直後から再生成

➤ 放置すると周囲軟組織に炎症を惹起する

➤ 除去すると軟組織の炎症は消失する

➤ 定期的除去で炎症を抑制できる

口腔二大疾患に対する予防的介入

口腔内環境

予防的介入

う蝕

口腔内細菌
歯質
唾液

定期診査
プラークコントロール
食餌
フッ素

歯周病

バイオフィルム
血液

定期診査
プラークコントロール
プロフェッショナルケア

健診と検診



”今問題はないけど”

一般的情報

異常がないかどうか

疾患の一般情報

異常については歯科
受診を勧める



“問題がないか心配”

個別情報

どこに、どの程度の異常
があるか

個別の病態の程度と進行

治療方法

個別の予防



Sweden Styleの予防の特徴

- 定期的歯科受診
- 疾患診査・リスク評価
- 情報提供
- セルフケアの向上
- プロフェッショナルケア
- フッ化物の適切な活用
- 定期検診の継続記録（モニタリング）

情報提供はなぜ重要？

“木を見て森を見ず”

目の前の眼に見える現象にのみとらわれて
全体像が見えなくなっている状態

“根拠に基づく想定”

他者の情報や（根拠）から見てこれから先
どうなるのか、どんな経過をたどるのか、
先手を打つことが可能

歯科医院における予防システム構築への近道

情報提供

定期受診の継続

適切な情報提供

定期受診を継続

Effect of controlled oral hygiene procedure on caries and periodontal disease in adults. Results after 6 years

Axelsson P. and Lindhe J
J Clin Periodontol. 1981

Combined effect of subgingival scaling and controlled oral hygiene on the incidence of gingivitis.

Lövdal A *et al.*
J. Clin Periodontol. 1961

A survey of patients' concerns about visiting the dentist and how dentists can help

Hannah C *et al.*
J Oral Rehabil. 2022

The long-term effect of a plaque control program on tooth mortality, caries and periodontal disease in adults. Results after 30 years of maintenance

Axelsson P, Nyström B, Lindhe J
J. Clin Periodontol. 2004

唾液検査装置

SiLLHa(シルハ)

LH-4912

う蝕

+

歯周病

口腔環境の簡単スクリーニング



The advertisement features a central white SiLL-Ha device with a touchscreen displaying icons for '歯周病' (Periodontitis), 'う蝕' (Dental Caries), '歯質' (Dental Hardness), and '歯肉' (Gum). The device is surrounded by various dental instruments including toothbrushes, floss, mirrors, and probes. The background is a solid blue color. At the bottom, the text reads 'デンタルヘルスケアの新習慣' (New habits for dental health care) and 'キレイな歯、さわやかな吐息、それは口内環境を知ることから' (Clean teeth, pleasant breath, that's from knowing the oral environment). Below that, it says 'SiLL-Haと始める新習慣' (New habits starting with SiLL-Ha).

唾液検査装置
SiLL-Ha

歯周病
う蝕
歯質
歯肉

デンタルヘルスケアの新習慣

キレイな歯、さわやかな吐息、それは口内環境を知ることから

SiLL-Haと始める新習慣

商品の特長

◇ 多項目同時測定

歯の健康・歯ぐきの健康・口腔清潔度に関連する **6項目を一度に測定**

(測定項目：むし歯菌・酸性度・緩衝能・白血球・たんぱく質・アンモニア)

◇ 測定者・被験者の負担軽減

口腔すすぎ液を試験紙に滴下して装置に乗せるだけで5分で測定できます。

測定する方・検査を受ける方ともに**手間なく測定**できます。

◇ わかりやすい結果表示

検査結果をレーダーチャートで表示します。

視覚的に分かりやすい報告書で患者さんに結果説明できます。

SillHa Connect 検査結果シート

唾液検査結果報告書

作成日 2023/8/20 カルテ番号 1
 氏名 京都一郎 様
 年齢 30 性別 男

歯の健康		歯ぐきの健康		口腔清潔度	
むし歯菌	緩衝能	白血球	タンパク質	アンモニア	
—	高め	—	—	—	—
—	弱め	平均レベル	平均レベル	—	—
少なめ	—	—	—	—	少なめ

グラフの見方 | 六角形が小さいほど、お口の健康状態が良いことを示しています。
 測定結果は検査を継続して測定した際の色調を百分率で示しています。(実際の歯数や濃度ではありません)

歯の健康

歯の健康リスクは高い状態です。むし歯菌の活動性は少ないですが、酸性度は高く、緩衝能が弱いです。お口の中が中性に戻りにくい状態です。むし歯菌の活動性が少なくてもむし歯になるリスクは高いです。正しいケアができているか、ガラガラ食べたり飲んだりしていませんか。ガラガラ食べたり飲んだりしていませんか。見直しする必要があります。口腔衛生指導を受けた後に再検査をお勧めします。

歯ぐきの健康

歯ぐきの健康リスクは平均レベルです。白血球数、タンパク質量は平均レベルです。若干うまく磨けていない部分があります。ハブラシ以外の補助用具を使用することにより、より磨き残しが少なくなります。口腔衛生指導を受けて正しいセルフケアを身につけましょう。

口腔清潔度

口腔清潔度のリスクは低い状態です。この状態を維持できるように正しいセルフケアを受けましょう。お口の中は生活習慣で変化しやすいので、規則正しい生活を心がけましょう。

● 19～39歳の平均値

- 現在の結果 (2023/8/20 15:35 23°C)
- 過去の結果1 (2023/5/27 11:15 25°C)
- 過去の結果2 (2023/2/9 10:27 22°C)

歯科医院名 アークレイ歯科 歯科医師名 東京 太郎

項目ごとの結果

作成日 2023/8/20 カルテ番号 1
 氏名 京都一郎 様
 年齢 30 性別 男

※下記分布は19～39歳の測定データをもとに表示しています。

むし歯菌

少なめ
スコア値 15 平均値 33

<コメント>
 むし歯菌は少ないですが、他のリスクが高いと少ないむし歯菌でもむし歯になるリスクが上がります。定期的な検診を受けましょう。

酸性度

高め
スコア値 77 平均値 64

<コメント>
 ガラガラ食べたり、飲んだりしているとお口の中が酸性になり続けむし歯になりやすくなります。習慣を見直していきましょう。

緩衝能

弱め
スコア値 13 平均値 26

<コメント>
 緩衝能が弱くとむし歯リスクが上がります。正しく口腔ケアができているかケア用品も含めて見直しましょう。

白血球

平均レベル
スコア値 60 平均値 65

<コメント>
 白血球量は平均レベルです。少しでも炎症がある場合はハミガキがうまくできていない場合がありますので口腔衛生指導を受けましょう。

タンパク質

平均レベル
スコア値 48 平均値 47

<コメント>
 タンパク質量は平均レベルではありませんが、正しく口腔ケアができているかケア用品も含めて確認しましょう。

アンモニア

少なめ
スコア値 29 平均値 44

<コメント>
 お口の中は生活環境の変化やストレスなどで変わりやすくなります。規則正しい生活を心がけて良好な状態を維持していきましょう。

※検査に当たっては必ずお口の清潔さを確認しています。歯垢や歯石の蓄積を予防することでお口の中を清潔に保つていただくことが重要です。この結果はアークレイ株式会社の口内環境測定システム「SillHa」で測定したものです。

れいこさんのお口の中を見てみよう!

パイキンのすみか

パイキンのすみにきさすみやすい

だえきパワー つよい

むしばのパイキン すぐない

おくち応援

れいこさんのお口の中をもっとピカピカにするためにしてほしいこと

- ごはんやおやつをたべたあとには はみがきやうがいをしましょう
- あまいおかしやジュースは きまったじかんにたべるようにしましょう
- だえきパワーをつよくするために よくたべてよくねるようにしましょう

検査日 2023/8/20 15:48 23°C カルテ番号 2
 氏名 京都れいこ 年齢 6 性別 女
 医院名: アークレイ歯科 医師名: 東京 太郎

測定項目の詳細

	測定項目	解説
歯の健康	① むし歯菌	唾液中のむし歯菌を代表するう蝕原生菌の代謝活性を検出しています。
	② 酸性度	唾液中のpHをpH指示薬で測定しスコア値に変換しています。
	③ 緩衝能	試験紙中に酸を加えており、唾液の持つ緩衝能によって試験紙中のpHがどの程度中性付近へ戻ったかpH指示薬で測定しています。
歯ぐきの健康	④ 白血球	炎症・出血に伴い出現した白血球中のエステラーゼ活性を測定しています。
	⑤ タンパク質	出血由来やムチンの分泌などにより出現したタンパク質を、タンパク質中のアミノ基と反応する色素を用いて測定しています。
口腔清潔度	⑥ アンモニア	唾液中のアンモニウムイオンを試験紙中の酵素により色素と反応させて生じる色調変化を測定しています。

SillHa 使用時の注意事項

- 検査前2時間、飲食・歯磨き・タバコを控えるようご案内ください
- うがいは口腔内全体に行き渡るようしっかりとしてください
- 洗口吐出液は採取後なるべく早く(30分以内に)使用してください
- 測定環境が20℃未満の場合はむし歯菌・アンモニアの測定結果が参考値となります
- 試薬を冷蔵庫保管する場合、常温に戻してから測定してください
- 本唾液検査システムは研究用機器・試薬です
※診断に用いることはできません

Sweden Styleの口腔二大疾患の予防

- ★ 患者さんのやる気を高める
- ★ 疾患初期で発見・進行停止
- ★ 定期的受診の習慣化

カリエス

- 口腔内環境
- 歯面の損傷を避ける
- 石灰化促進（フッ素）

歯周病

- セルフケア向上
- Biofilm除去
- 歯肉退縮

定期的モニタリング
(客観的診査記録)

ご清聴ありがとうございました